

株式会社ジェイコム東京 板橋・北局

放送番組審議会 議事録

2021 年度 株式会社ジェイコム東京板橋・北局 放送番組審議会は、
2022 年 3 月 18 日(金)オンラインにて開催された。

【放送番組審議会委員】

(ご出席)

高田 修一 様
中川 修一 様
小熊 大介 様
関谷 幸子 様

(ご欠席)

平井 和成 様
木田 孝雄 様
江村 宏二 様

【事業者：株式会社ジェイコム東京】

板橋・北局 局長	池田 将人
板橋・北局 管理部長	石原 綾子
板橋・北局 地域プロデューサー	辻 詩織
板橋・北局 地域プロデューサー	阿部 亜希子
地域コミュニケーション統括部	遠藤 美穂
地域コミュニケーション統括部	安藤 果那子

【事業者：JCOM株式会社】

映像制作第一部	坂野 貴弘
---------	-------

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告。

【質疑応答・意見交換】進行：高田会長

委員

■「ベレとも」に出演する日テレ・ベレーザの選手は、毎回固定なのか、できる限り多くの選手が出演するようになっているのか

事業者

出演する選手は基本的には2名。番組コンセプトとして、地域に出向き地域の方と交流することがテーマになっているため、新型コロナウイルス感染対策の観点でも、あまり多くの人数で出演することは想定していない。

これまで出演いただいたのは、清水選手、岩清水選手、植木選手、木下選手、田中選手、皆川選手、松田選手、菅野選手となっており、できる限り出演が重ならないように調整している。

委員

■これまでの「ベレとも」は、街に出て地域の人と触れ合うことが基本だったが、今後の展開についてはどのように考えているのか。

事業者

今年度については、地域の皆さまに日テレ・ベレーザのことを知っていただく、また日テレ・ベレーザの選手にもホームタウンのことを知っていただく、そうした観点で、街に出るロケを中心に番組制作をしていた。

次年度についてもその基本軸はぶらさずに地域との触れ合いを進めていくが、少し趣向を変え、より人にテーマを当てていきたい。例えば、子ども・高齢者・働く女性などをテーマとして。

テーマ設定については、皆さまからも是非ご意見をいただきたい。

委員

「ベレとも」のような番組は、チームや選手を、地域の方にどのように応援してもらうか、どのようにファンになってもらうか、が重要であると思う。さまざまな方との触れ合いを進めていくということを、是非今後も継続してもらいたい。

委員

■北区は2020年に、日テレ・ベレーザと「スポーツの推進および連携に関する協定」を締結している。その協定をもとに、区民観戦デーや子どもと選手が触れ合うサッカー教室など実施している。これまでもJ:COMにて取材対応をしてもらっているが、イベントの実施の際は今後も区の取り組みを是非取り扱ってほしい。

事業者

そういった活動は、引き続き番組やニュースにて取り上げていきたいと思っている。

情報提供いただければありがたい。

委員

■J:COMの魅力は地域に根差した番組づくり、情報提供である。実際に周囲でも、番組が身近な話題提供に活躍していると感じている。ルーティン的にしている番組も楽しみだが、区として様々な事情のある中高生や若者の居場所づくりが重要であるという施策展開をしている。なかなか取り上げにくいと思うが、そういった“居場所”について焦点をあてた特集を組んでもらえると嬉しい。

事業者

別のエリアでは公共施設の有効活用ということで、図書館等の施設に焦点をあて特集を組むことをしている。そういった観点を参考にしても良いのではないかと思う。

委員

■東京2020大会において、民放では放送されなかったマイナー競技を放送したことは素晴らしいと思う。

また、板橋区在住で金メダルを獲得した選手の区長表敬訪問の様子をニュース放送してくださったことで、そんな選手がいるのだということを、その放送がきっかけで初めて知った区民も多かったと聞いている。J:COMならではの放送であると思う。

コロナ禍において、子ども達の大事なイベント（修学旅行や運動会など）が軒並み中止になっている。そんな中でも、少しでも思い出として残るようなスポーツや音楽のイベントを、今の大人たちが提案していければと考えている。本番組審議委員会の中には、スポーツに精通している江村さま、音楽に精通している三原さまがいらっしゃる。そうした皆様のお知恵をお借りして、先ほどのお話しにもあったように、若者たちへの居場所提供にも繋げていってほしい。

委員

■昨今、YouTubeやTikTokなどのショート動画制作が流行っている。そうした動画をスマホで簡単に作成できるという講座を、地域の中小企業向けに開催してみてもどうか。そして制作した動画をコンテスト形式にして募集して、中小企業を元気にさせるといった取り組みを、J:COM発信で始めてみてはどうか。

事業者

現在局では、スマホ・タブレット講座を開催している。オンラインでの講座開催も実施可能と考えられるので、参考とさせていただきます。

事業者

動画制作については我々も専門部署がありアドバイスやご提案できる。地域の情報を地域の方に発信をすることをモットーに、昨今TV離れが進んでいるが、それを取り戻すべく地域の方への情報発信についても誇りをもって番組づくりに励みたい。今後ご意見を頂戴し真摯に受け止め具現化していきたい。

以上